

山小屋に泊まって尾瀬を満喫 ～滞在型・回遊型ルートを楽しむ方～

滞在型・回遊型ルートとは？

尾瀬では、毎年約30万人の方が訪れますが、利用者の約8割が入山口と下山口が同じの往復利用であり、利用者の5割が鳩待峠からの往復と、選択するルートには偏りが見られます。利用者の皆さんに季節を通じて、夜明けや夕暮れ、夜空など、尾瀬の多様な魅力をゆっくり楽しんでもらうため、山小屋に宿泊（滞在）しながら尾瀬を歩く（回遊）ルートの利用を薦めています。今回は、鳩待峠～大清水のコースを参考に山小屋の様子や宿泊しなければできない体験についてご紹介します。

1泊2日コース

尾瀬ヶ原～尾瀬沼縦断コース

尾瀬を代表する尾瀬ヶ原と尾瀬沼を、山小屋に宿泊しながらゆっくり体感できます。時期や場所によって景色やお花も異なるので、ミスバショウやニッコウキスゲ以外の時期にもお勧めです。

1日目 歩行距離：約10.5km

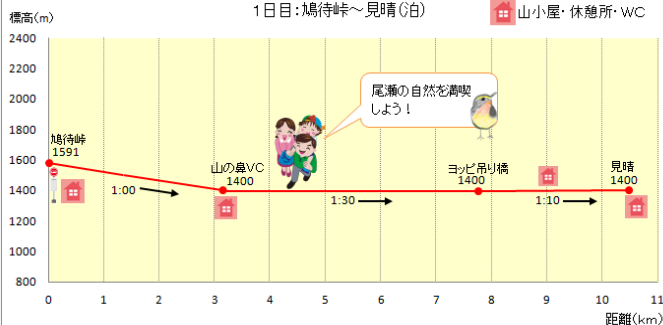
鳩待峠
(60分) ↓ 下り 昼食 山の鼻ビジターセンター
山ノ鼻 WC で尾瀬を学習 (30分)
(90分) ↓ ヨッピー吊り橋 尾瀬ヶ原の真ん中で自然を満喫
(70分) ↓ 途中東電小屋で WC
見晴 宿泊

所要時間：約4時間20分(1日目)
約7時間20分(2日目)
難易度：1～2
おすすめ時期：7月上旬～10月上旬

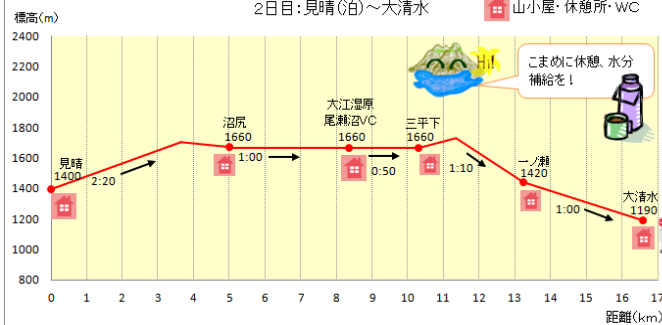
2日目 歩行距離：約16.5km

見晴
(140分) ↓ 白砂峠まで上り
沼尻 WC
(60分) ↓ 昼食 尾瀬沼ビジターセンター
大江湿原 WC で尾瀬を学習 (30分)
(50分) ↓ 三平下 WC 尾瀬沼湖畔で休憩
(70分) ↓ 三平峠まで上り
一ノ瀬 WC
(60分) ↓ 下り
大清水

1日目:鳩待峠～見晴(泊)



2日目:見晴(泊)～大清水



こんな楽しみ方はいかがですか？ということで、実際に尾瀬で撮影した写真をもとに以下の楽しみ方にまとめてみましたので、参考にご覧ください。

- ① 見る(撮影する)
- ② 体感する(五感で感じる)
- ③ 食べる(休む)
- ④ 知る(学ぶ)



動画もありますので、こちらのアドレスからご覧ください。

動画その1 鳩待峠～見晴／1日目 <http://www.youtube.com/watch?v=V46gAsoNNo0>

動画その2 見晴～大清水／2日目 <http://www.youtube.com/watch?v=BPFRHKGCGdg>

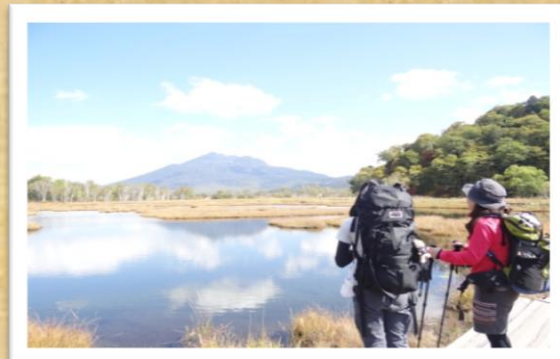
山小屋に泊まって尾瀬を満喫 その1



見る（撮影する）



くじら雲発見！
波は山と湿原を渡る風
乗せておくれ～



池塘（ちとう）は鏡のよう。
青い空、燧ヶ岳、登山者も映ってる。
どこを見渡しても絵になるね。

5月中旬



8月上旬



11月上旬



第17回NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト入選作品



「湿原のドラマ」 稗田 稔（東京都杉並区）

運が良ければこんな景色も見られるかも。

尾瀬では季節が駆け足で過ぎていきます。

マガモ

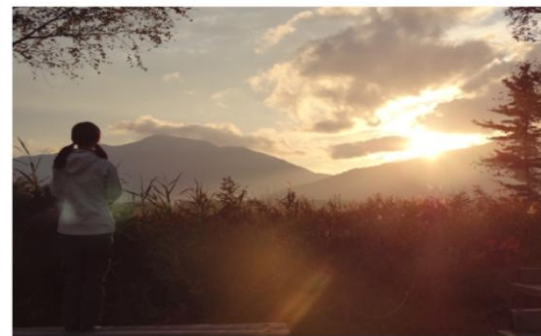


ニホンリス



オコジョ

ゆっくり時間をかけて歩いていれば、
動物達に出会えるかも。



今日が終わるのを見届けます。
明日天気にな～あれ。



体感する（五感で感じる）



何百年先輩？



あわてない、あわてない。
一休み、一休み。



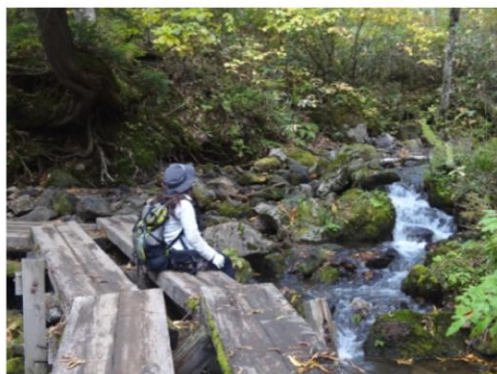
ちょっと早起きして、清涼な空気に
包まれながらのヨガ体験。
くぅ～伸びる～。
運動後の朝食は最高！

第17回NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト入選作品



「星の宴」田淵 典子(神奈川県横浜市)

宇宙って、自然って、大きいな。



ずっとここに居たいよ～。
マイナスイオンたっぷり。
明日から仕事…帰りたくないな。

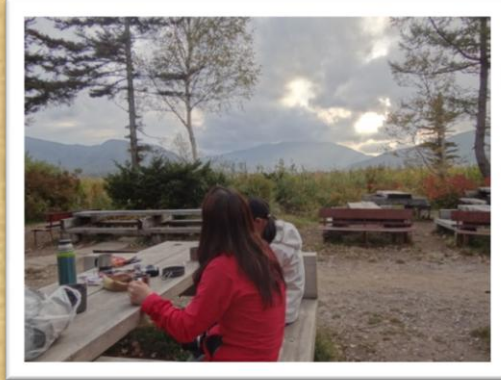
食べる（休む）



山菜たっぷりの山小屋の夕食。
山のご飯は、なんでこんなにおいしいのだろう。おかわり！！



しっかり朝食を食べて、今日のエネルギーをフル充電。



景色を見ながらのティーブレイク。山で飲むお茶は格別。
お菓子は、行動食や非常食にもなりますが、食べ過ぎには注意。



山小屋や休憩所で腹ごしらえ。場所や時期によってメニューも違うので、
いろんな場所に行ってみよう！



知る（学ぶ）



入山口やビジターセンターでは、尾瀬の最新情報をチェック。
天候や気温、ルートの最終確認をしましょう。
尾瀬のことを知って、もっと尾瀬を楽しもう！



Q. 花の写真を撮ったけど、名前がわからない。
A. これは良い写真ですね。ちょっと調べてみましょう。



通常展示の他に企画展示も実施中。
今回は、カエルの一生についてレクチャー



尾瀬のトイレは自然に優しいけど管理は大変。みんなできれいに使いましょう。



きれいなトイレを維持するため、協力金をお願いします。



快適な山小屋泊も、それを維持するのは大変なコストがかかります。
この機会に普段の生活を見直してはいかがでしょうか。



山小屋の生活を支える発電機。